

今年は「ウサギどし」です

校長 和内 正也

あけましておめでとうございます。令和5（2023）年がスタートいたしました。皆さまにはお変わりないでしょうか。この場をお借りして新年の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いたします。

今年は十二支の「卯」＝ウサギどしとなりました。ご存じですか？ ウサギのこと…。

ウサギ（兎、兔）は、兎形目、ウサギ科、ウサギ亜科もしくはノウサギ亜科の総称で、見た目のポイントは耳が大型なことです。音のする方に耳の正面が向くように耳を動かすことや、耳を風にあてて体温を下げ、調節することができるのだそうです。草食性で食べ物は主に牧草です。ニンジンを食べるイメージがありますが、糖分が高いため野生のウサギは食べないとのこと。自然界でヘビ、キツネ、カラスなどに追われるため、人間に飼われても本能からカーテンの裏側、机の下、部屋の隅っこなどにいることが多いそうです。たえず周囲を警戒し、ストレスには非常に弱いとのことですが、日本にある「ウサギは寂しいと死ぬ」という説はまったくの迷信・都市伝説だそうです。



ウサギは生活範囲が広く、日中に行動して人の目にふれやすいため、昔から人間の生活に登場してきた動物です。日本では、月面の模様がもちつきをするウサギに見えることから、月にはウサギが住んでいるという話が伝わっています。大国主命（おおくにぬしのみこと）に助けられるウサギ「因幡（いなば）の白うさぎ」の話も有名です。地域によってはウサギが山の



大国主命と白うさぎの像
（出雲大社）

神、あるいは山の神の使いという伝説があるそうです。外国では多産・豊かさや速さ、人につくす、宗教、組織のシンボルとされることがあるとのこと。物語「ウサギとカメ」、「かちかち山」では準主役級で登場、「不思議な国のアリス」では、服を着たウサギが時計を見て走っていくのを主人公アリスが目撃、ウサギを追いかけて物語が始まります。

最近、一説に神話の「因幡の白うさぎ」が、犯罪の「詐欺（さぎ）」の語源になっている、ということを知りました。とはいえ、むかし話に登場するウサギたちは失敗することはありますが、人間に悪さをするイメージはあまりありません。ウサギが人間にとって親しい存在ということなのでしょう。

今、社会全体では感染症対策、戦争、悪い円安・物価高等々、課題が続いていますが、昨年末にかけて、スポーツ界などでは明るい話題も出てきています。今年はウサギにあやかり、ホップ・ステップ・ジャンプと進んでいきましょう。

今年もよろしくお願いいたします！

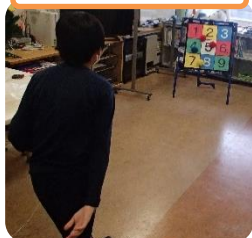
～本校・センター院内学級～

センター院内学級では、寒い12月の中でも、たくさん活動しました！

算数の授業



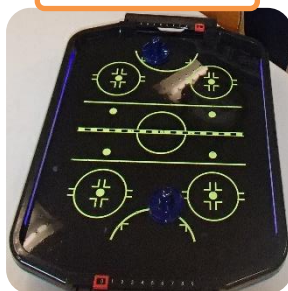
ストラックアウト



お箏の演奏



エアホッケー

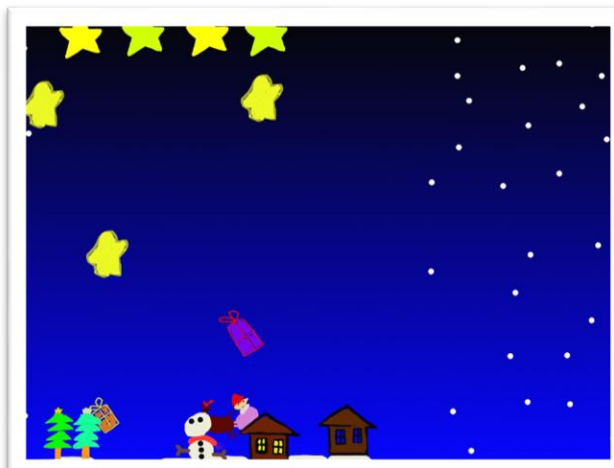


ビー玉万華鏡作り



冬のお楽しみ会

～福浦～



冬のお楽しみ会がありました♪
当日の出し物として、みんなでアニメーションをつくりました。自分で描いた絵をプログラミングで動かしました。

全校行事

12月8日にはまぎんこども宇宙科学館出前授業教室、13日に100万人クラシックライブがありました。

23日の全校朝会では、食育教室が実施されました。年末年始の行事食についてのお話がありました。クイズを通して、日本の食文化を学ぶことができました。



1月の予定



10日 全校朝会

19・20・27日

「アーティストが学校へ」プロジェクト

その他の予定は、各院内学級よりお知らせします



季節の挨拶

～訪問指導学級～



クリスマスカードを作成しました。飛び出す仕掛けを作ったり、絵を描いたり、シールを貼ったりして、オリジナルクリスマスカードを作ることができました。